

One Control LITTLE COPPER CHORUS

User Guide ユーザーガイド

CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、リトルカッパーコーラスをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機の性能を十分に発揮するため、

また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。



今より数年昔の話。

私たちとBJFは新しいコーラスの設計に着手しようと
思い議論を深めていました。

この現代にコーラスというエフェクターの必要性そのものにまで
疑いを持っていた私たちに彼は一つの設計図を持ってきます。
強い確信とともに。

sweet chorusという簡素な仮の名前が付けられていたその設計図
のペダルを組み上げ、音を出した瞬間私たちは驚愕します。
強い感動とともに。

私たちはこの音を出した刹那に感じました。
これこそが私たちの時代のコーラスだと。
これこそが今の時代に必要なコーラスだと。
このペダルはコーラスというこれまでの
ジャンルの中でカテゴライズされたとき、
異彩を放ってしまうかもしれません。

このペダルこそが私たちの時代のコーラス。
私たちは宣言します。

LITTLE COPPER CHORUS (LCCn)は、誰もがギターにコーラスをかけていた80年代のイメージから脱却できるコーラスエフェクトだ。歪みと合わせて使うことも考えて設計しているので、LCCnをオーバードライブやディストーションの前や後に繋いで音を出してみたい。さらにBJF Buffer Splitと2台のLCCn、2台のアンプを使い、バラレルでLCCnをかければ、伝説のディメンションコーラスエフェクトのような太いモジュレーションを作ることもできる。いろいろなアイデアで、LCCnが今の時代の新しい音のアイデアとなることを確信している。

——Bjorn Juhl

One Control LITTLE COPPER CHORUS

User Guide ユーザーガイド
CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、リトルカッパーコーラスをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮するため、
また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。

モジュレーションエフェクトの歴史は、ロータリースピーカーサウンド再現の歴史です。音量が上下するだけの単純なトレモロエフェクトも、コムフィルタを動かして独特の効果を作るフェイズシフターも、フォトカブラを使用した有名なヴァイブエフェクトも、元をたどればロータリースピーカーのサウンドへと繋がります。

1975年、日本から発売されたアンプには、全く新しいモジュレーションエフェクトが搭載されていました。短いショートディレイのディレイタイムを揺らす、シンプルな構成のエフェクトは、ギターサウンドに広がりに加え、音が太く聞こえるような効果がありました。そのエフェクトは、まるでその楽器が合唱しているように聞こえることから、コーラスと名付けられました。翌1976年には、世界で初めてのコンパクトコーラスエフェクトも発売され、その“最新”で“未知の”サウンドは、世界中のプレイヤーに愛されるようになりました。

1975年当時、革新的だったそのエフェクトは1980年代にあまりにも多用されました。それまでのモジュレーションエフェクトとは一線を画する、音を太くして広げるような効果も、いつしかクラシックエフェクトの1つへと変わっていきました。

One Control LITTLE COPPER CHORUSは、コーラスエフェクトの再発見です。
今、ギターサウンドはかつて無いほど幻想的な空間を作り出しています。コーラスエフェクトを今の時代に作り直したとすれば、そこには、全く新しい音の源となる再発見がありました。

LITTLE COPPER CHORUS。BJFが設計した新しいコーラスエフェクトに付けた名前には、古くからのコーラスエフェクトとは全く違うという意味が込められています。柔らかく暖かな色の金属である銅は、パステルカラーや原色で彩られたコーラスエフェクトとは違う、金属的で澄んだ、それでいて立体的な光沢のある響きをイメージさせます。その輝きには金属特有の硬さではなく、優しく包み込まれるような安心感も感じられます。

多くのクラシックコーラスペダルは、モジュレーションソースに三角波を使用していました。LITTLE COPPER CHORUSは、サインウェーブをモジュレーションソースとして使うことで、音色に柔らかな響きを与えることが出来たのです。LITTLE COPPER CHORUSのサウンドは、かつてはごく一部の最高級ラックエフェクトでしか作ることのできなかった質感を持ちます。

同時に、ローノイズで広いダイナミクスレンジを実現。クラシックなコーラスエフェクト特有の音が押し潰されるような感覚はどこにもありません。LITTLE COPPER CHORUSはクリアで高い解像度のまま、音をどこまでも広げます。ヴィンテージコーラスエフェクトが澄んだ水のような音色だとすれば、LITTLE COPPER CHORUSはどこまでも広がる平原を吹き抜ける涼やかな風です。どちらも素晴らしい音には違いありませんが、LITTLE COPPER CHORUSの持つ開放的なコーラスサウンドはかつてのコーラスでは感じられなかった感覚です。

また、LITTLE COPPER CHORUSは古くからのモジュレーションエフェクトが目指した、レスリースピーカーの特性も持ち合わせています。コーラスエフェクトとして設定できるモジュレーションスピードは、かつてのロータリースピーカーが実際に作ることのできたスピードレンジと同等です。さらにCOLOURコントロールによりミッドレンジをフォーカスすることで、クラシックコーラスサウンドの持つ音色の太さを作ることでもできます。これらの特性により、歪みの前にLITTLE COPPER CHORUSを接続すればロータリースピーカーのようなサウンドに、歪みの後にLITTLE COPPER CHORUSを接続すれば伝統的な“音を太くする”コーラスエフェクトとして使うことも可能です。

シングルコイルやハムバッカーなどのピックアップはもちろん、高出力ピックアップやベースにも使うことの出来る広いダイナミクスレンジを実現し、歪みの前段に接続することも前提としています。

●各部の名称と使い方

INPUT:ギター/ベース側のケーブルを接続します。
OUTPUT:アンプ側のケーブルを接続します。
SPEED:コーラスの揺れるスピード(RATE)をコントロールします。
WIDTH:コーラスサウンドの広がりと揺れの深さをコントロールします。
COLOUR:コーラスサウンドのミッドレンジをフォーカスし、音色の太さを調整します。
FOOT SWITCH:エフェクトのON/OFFを切り替えます。OFF時はトウルーバイパスとなります。
DC INPUT:センターマイナスのスタンダードな9VDCアダプターを接続します。8~12Vの電源に対応します。
9V BATTERY:裏面4角のスクリューを外し、裏蓋を開けて006P型9V電池をセットします。

●特徴

- ・クラシックなコーラスエフェクトとは次元の違う、立体的で美しいサウンド
- ・広いダイナミクスレンジによる開放的なコーラスサウンド
- ・ローノイズで、高出力ピックアップやベースにも対応
- ・アルミ削り出しのハイクオリティなミニサイズケース
- ・電池内蔵も可能
- ・トウルーバイパススイッチング

●Specification

インプットインピーダンス:280K
アウトプットインピーダンス:2K
駆動電圧:8~12V
消費電流:60mA @9V
S/N比:-96dB
サイズ:39Wx100Dx31H mm(突起含まず)
47Wx100Dx48H mm(突起含む)
重量:およそ160グラム(電池挿入時200グラム)
※電池は付属しません。

制作:LEP INTERNATIONAL 〒025-0098 岩手県花巻市材木町12-19 TEL:0198-23-6600